

平等社会を実現するために できること ～家庭内のジェンダーについて～

チーム名： SHS
ALOHA英会話

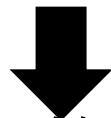
横山遥（高校3年）
増井咲来（中学1年）
寺山佐和子（中学1年）

ジェンダーとは何か？

- 男女の体の作りの違い。
- 社会的、文化的な役割の違い



「男性は～女性は～であるべきだ！」と
みんなが無意識に考えてるイメージのこと



ジェンダーの不平等や差別を生む

私たちがジェンダー平等の問題を考えた時、 身近に思い浮かんだことは家庭内での不平等です

育児や家事に追われて自分自身へ費やす時間が確保できていないのではないか



家事は女性がするもののイメージが強くある

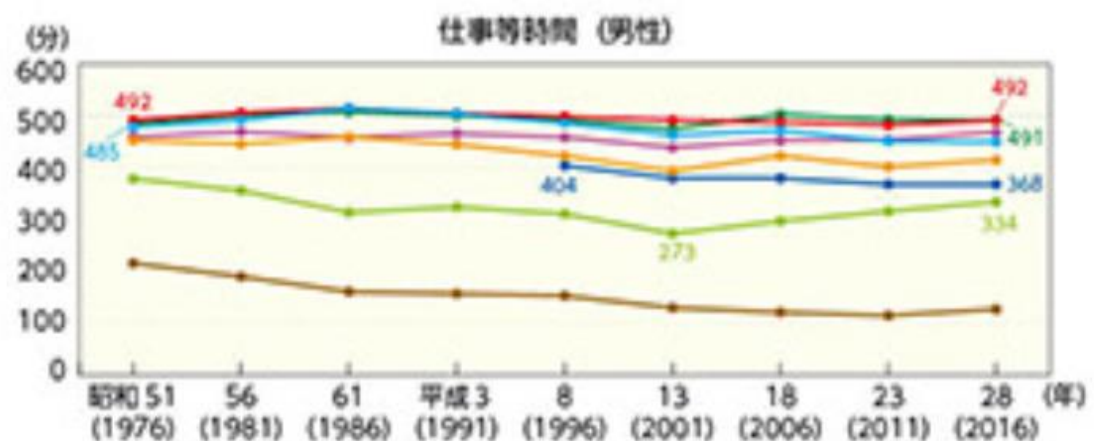
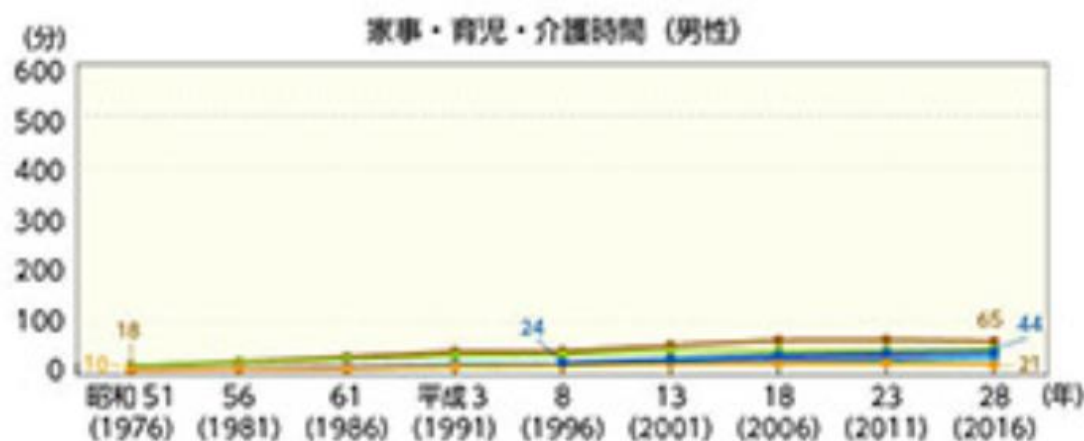
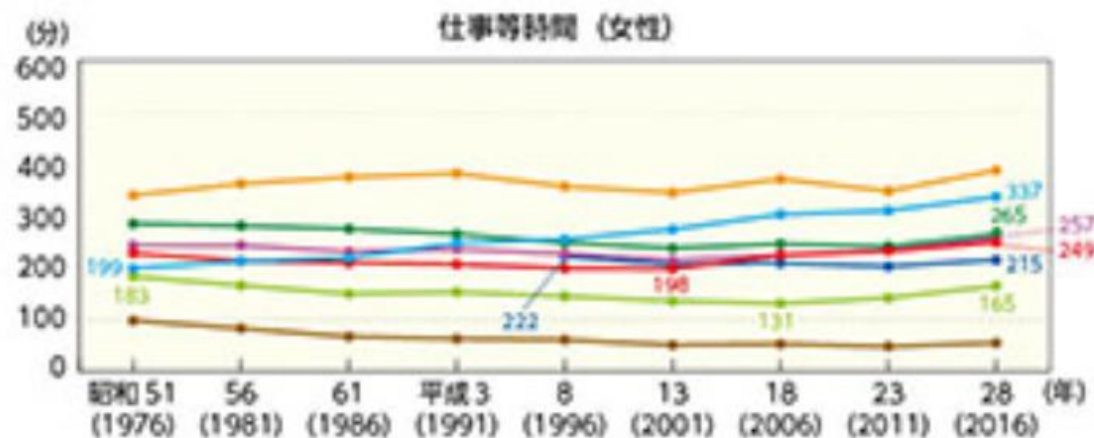


家事をすることで働く時間が限られ、職業選択の自由を失っているのではないかと



共働きが多くなる中で女性のほうが多く家事をしている気がする





(備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」より作成。「週全体平均」は、次の式により曜日別結果を平均したもの。

週全体平均 = (月曜日平均 + 火曜日平均 + 水曜日平均 + 木曜日平均 + 金曜日平均 + 土曜日平均 + 日曜日平均) ÷ 7。

2. 「家事・育児・介護時間」は1日あたり(週全体平均)の「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計。また「仕事等時間」は「通勤・通学」、「仕事」及び「学業」の合計。

3. 「家事」「介護・看護」「育児」の内容として例示されているものは、以下のとおり。

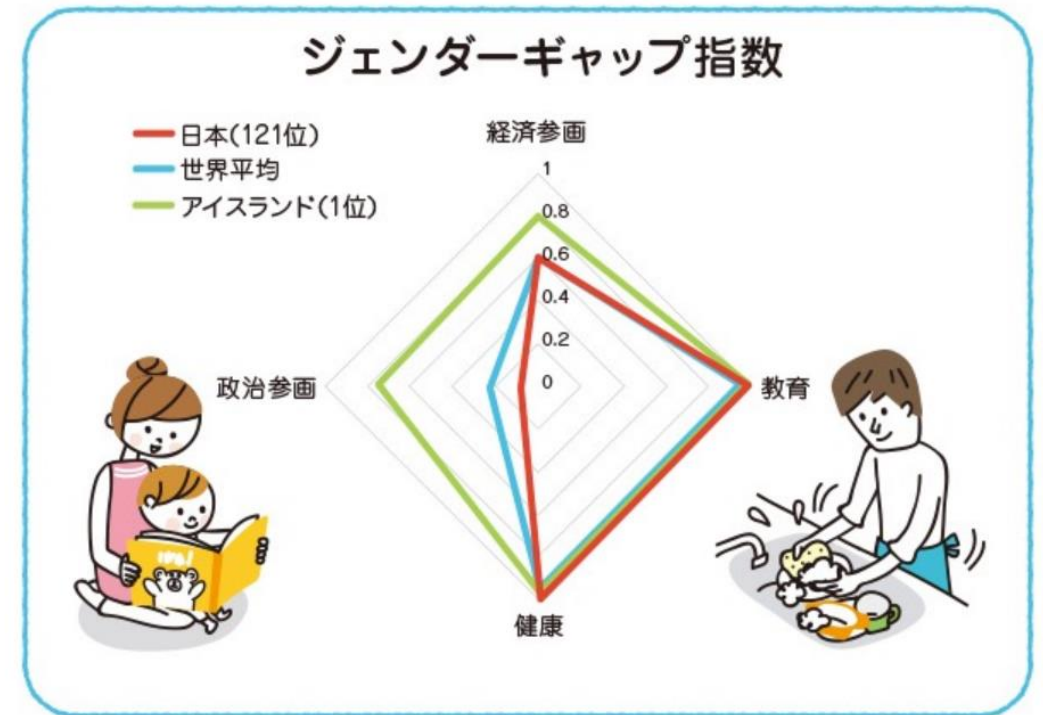
家事	炊事、食事の後片付け、掃除、ゴミ捨て、洗濯、アイロンかけ、つくろいもの、ふとん干し、衣類の整理片付け、家族の身の回りの世話、家計簿の記入、株価のチェック・株式の売買、庭の草とり、銀行・市役所などの用事、車の手入れ、家具の修繕
介護・看護	家族・他の世帯にいる親族に対する日常生活における入浴・トイレ・移動・食事などの手助け、看病
育児	乳幼児の世話、子供のつきそい、子供の勉強の相手、子供の遊びの相手、乳幼児の送迎、保護者会に出席

現状

- 古い慣習
 - … 男女での仕事の役割
- 男性の家事参加率の低さ
 - … 共働きが増える中で女性の方が家事に費やす時間が多い

世界でみる日本の男女平等の度合い

日本**121位**/149カ国



問題点

家庭内での小さな不平等であっても、様々な機会が失われている原因になってしまう。

そして、経済や社会発展を妨げる可能性にもつながる。

だが、改善することができたら、持続的な社会を望むことができるだろう。

ジェンダーの差別を少なくするために 提案step①

ねらい

幼少期は絵本を手にする事が多く絵や文章から沢山の事を覚えることがある。絵本を親子で読むことにより、小さい時から家事の大切さ重要性をあたりまえとして伝えられると同時に父親も子供に読み聞かせする中で自らの生活を見直してもらおうという取り組み。

- 小さい時からの偏ったジェンダー意識の獲得
家庭内での普通の会話の中で幼少期から受ける家庭内での発言。

例えば男の子に対し…「大黒柱」「我慢強くあれ」

女の子に対し…「女の子だから大学のへ行かなくてもいい」

「家事をこなさなければならない」

このような親子の関わり方を幼少期から改善する提案

内容 『絵本から親子で学ぼう！』

…家庭内でのジェンダー平等を題材とした絵本の作成

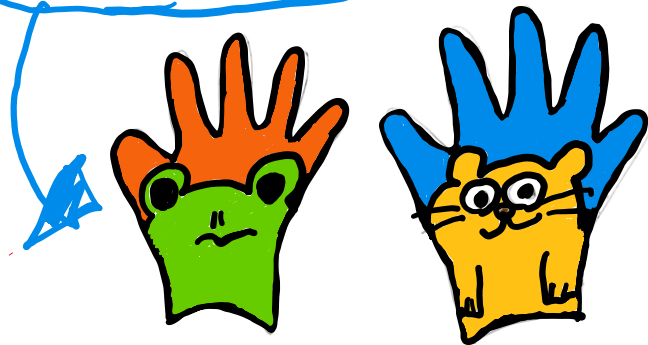


提案step②

『 New グッズでモチベーションアップ！ 』

…家庭内でのジェンダー平等とする家事を子どもに積極的に楽しんで理解し、活動してもらうための取り組み

Step①で作成した絵本内にお手伝いを頑張る子どもの絵と共にNewグッズを載せる



新しい物環境の変化など少しの違いで頑張れる事がある！



子どもの積極性を高めやる気をUp！！

効果

- 親の意識を変えると共に子どもが家事のできる大人になることで男女の家事への取り組みの不平等さの改善。
- 古くからの家事のイメージの払拭、家事が平等に行われる時代へ
- 絵本や幼少期からのお手伝いを通して家事への積極性重要性だ
という意識を養う。

感想、役割

・ **横山遥**（役割、アイデア、文章作成入力、絵本作成）今回活動でジェンダーの不平等について考えましたが身近ではあるのにとっても難しい問題だったと感じました。沢山調べ、文章にしたりチームで話し合い意見を出したりできた事はとてもいい機会で貴重な体験ができました。今後はいろんな問題について積極的に考えていきたいと思いました。

・ **増井咲来**（役割、アイデア、文章入力）私は、この活動を通して、今ある男女差別について詳しく知ることができました、関心を持ちました！他の学校の方と話し合いを進めることができ、良かったです。これからはこの経験を生かして過ごしていきたいと思います。

・ **寺山佐和子**（役割、アイデア、文章作成）私は、この活動を通して今の日本の現状の課題をどうやったらうまく解決できるかを考えていき、日本が平和で、ジェンダー差別のない国に、していきたいです。また3人のグループで、リーダーである遥さんを中心に協力してきました。これからも、ジェンダー差別を意識しながらより良い社会にしていきたいです。

出典、

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2020/202009/202009_02.html

The Global Gender Gap Report 2020 (世界経済フォーラム) 」より作成